

# なぎさの子



編集・発行 汐見台小学校区青少年育成推進協議会  
会長 中東 恵子

## 「進化する汐見台推進協」

松浪中学校教頭 森井康匡

松浪中学校教頭の森井康匡と申します。私は、5年前に汐見台推進協が発足した時にも、生徒指導担当として理事会に参加させていただきました。その頃の推進協は、様々なことがはじめてということで、会長をはじめ、各地区の自治会長、地区の各担当の皆様が各々のアイデアを出しながら、いろいろなことを決め、イベントなども手作りで行っていたように記憶しています。今は定着した「なぎさの子村まつり」も、初年度は緑が浜小区推進協と合同で実施していたことを思い出します。3年ぶりに戻る機会を得て、様々なことがバージョンアップされていてとても素晴らしいと思いました。特に「なぎさの子村まつり」などは、実施日程を秋に変え、内容もさらに濃いものになっていて、松浪中学校の生徒も企画から運営まで参加させてもらえることで、とても楽しみにしているイベントの一つになっています。松浪中の生徒たちは後輩になる小学生たちに立派な姿を見せようと頑張り、小学生は中学生になったら今度は自分たちが、という流れができつつあるように思います。子どもたちを育てる上で、地域の力がとても大切なものになってくれていることに感謝いたします。

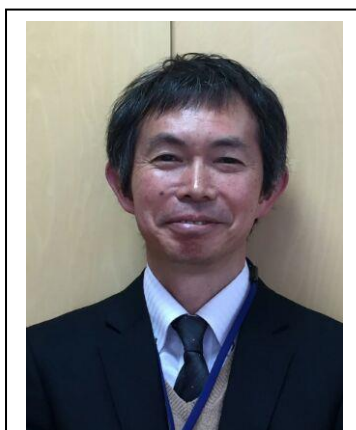
松浪中学校の教頭として、これからも様々な形で地域の皆様と協力しながら、子どもたちの成長に尽力をしてみたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 「温かい笑顔と心」

汐見台小学校教頭 山本哲史

汐見台小学校の一員となり1年が経ちましたが、本当に短く感じた1年でした。なぜ、短く感じたのだろうと思い返してみると・・・それは、汐見台小学校区の温かさに包まれた居心地の良さだと実感している今日です。

「この学区の一員として迎えてもらえるのだろうか?」「みなさんが自分と向き合って話をしてくれるだろうか?」このような不安が大きくある中で、第1回目の推進協理事会を迎えました。汐見台小学校に集まってこられた皆様は来校されると「こんばんは!」と笑顔で挨拶してくださいました。それも、飛び切りの笑顔で!(と私は感じました。) 理事会が終わる頃には、それまでの不安はどこやら。「汐見台小学校でよかった」としみじみと感じました。子どもたちのためにアイデアあふれる行動力と安心して活動できる心の豊かさで、様々な活動を企画実践される姿に感謝することはもちろん、皆様の温かい笑顔と心に支えられ励まされることで「ふる里」のような心地よさを味わっている毎日です。しかし、支えられ励まされている皆様に対して、何をお返しできているのだろうか?と考えてみると、申し訳なく思います。来年度に向けて、本校の6年生の学年目標であった「お役に立てる人になろう」を地域の皆様に対して実践できるように励んでいく所存でございます。 まだまだ、皆様に助けられることばかりかもしれませんが、これからも、よろしくお願いいたします。



# なぎさの子☆村まつり・子ども大会 (Part1) 開催

10月4日、汐見台小学校で「第3回なぎさの子☆村まつり」と「子ども大会 (Part1)」が行われました。良いお天気に恵まれたたくさんの方が来てくださいました。今年は、一体感を感じられる村まつりにしようというのがテーマです。体育館でやっていた「あそぶ村」を校庭で、ステージを中庭におき、「たべる村」のあるランチルームから見えるようにしました。このおまつりは、『子どものための子どもによる子どもの村まつり』です。小学生・中学生からスタッフを募り、地域の人と一緒に企画から当日の運営まで子どもたちがしてくれます。

「たべる村」「あそぶ村」「スタッフ村」「ステージ村」「つくる村」「文化村」村長さんを中心とするそれぞれの村が一体となり、小中学生・学校・PTA・子ども会のお母さん達・地域の方々が協力して作りあげていった楽しい村まつりでした。

## スタッフ村



スタッフ村は、受付や案内、ゴミの回収をする縁の下の力持ちです。

## たべる村



子どもたちにメニューの希望をとったり、売る食べ物の帽子を作って販売しました。

## ステージ村



ステージ村では、舞台作りや司会進行を子どもたちが頑張っていました。

## あそぶ村



パン食い競争やしっぽとりゲームなど、楽しいゲームを子どもたちが考えました。

## つくる村



これは、ハロウィンバックです。他にホワイトボードやヘンプミサンガも作りました、子ども会のお母さん達と中学生が優しく教えてくれました。

## 文化村



文化村では、生徒会の発表や、美術部の作品、小学生の作品が展示され、茶華道部のお茶のおもてなしがありました。

## 《子ども大会 (Part2) 「松浪中学生に教わろう」》

子ども大会 (Part2) が3月12日に汐見台小学校で行われました。今年で4度目となる子ども大会です。茶華道部では春を感じる桜色のおまんじゅうとお抹茶でのおもてなしやミニ生け花体験を、美術部はわりばし版マジックハンド「マジックわりばし」の工作を子どもたちに教えてくれました。なかなか発表をする場が少ない部活動ということですが、小学生の子どもたちにどうしたら喜んでもらえるか毎年考えていると聞き、とても温かい気持ちになりました。小さな小学生がちょっと大人の中学生のみなさんと交流している様子を見てほほえましいと感じるひと時でした。

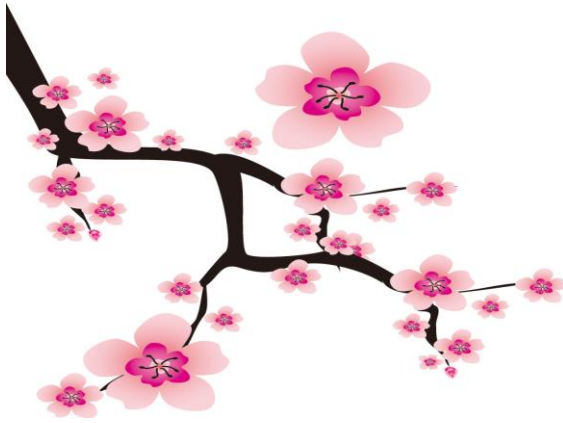


- 美術部は絵を描いてコンクールに出したりしているだけなので、今回作るのではなく教えるということがすごく大変でした。でも、スムーズに作業が進んだ子も、なかなかうまくいかなかった子も、最後はちゃんと完成して「ありがとう」と笑顔でいってくれたことがとても嬉しかったです。
- 最初は教えるのが大変だと思っていましたが、教えながら自分も楽しむことができた貴重な良い体験となりました。作っている時、自分なりの工夫をしていたり、黙々と楽しそうに作業をしていたりするのを見てやりがいを感じました。短い時間だったので、また機会があればやりたいと思いました。
- 美術部は人に教えることがあまりないので、今回教えながら、相手に伝わりやすい教え方を見つけて、教えている自分も楽しい気持ちになれたのでよかったです。皆諦めずに挑戦していたので、自分ももっとわかりやすく伝えるにはどうしたらよいかと考えるようになりました。      〈1年：米山千優・横山陽菜・進藤涼音〉

先日は、松浪中学校茶華道部をお招きくださりましてありがとうございました。茶華道部では、日々練習しているお手前を披露する機会がなかなかないため、たくさんの人達におもてなしすることができて嬉しかったです。茶道では、初めてお茶を飲む人が多かったです。茶碗の扱い方などを教えました。普段ではなかなか人に教えるということをしていないのでとても勉強になりました。また、地域の方々や小学生の後輩たちと交流する機会にもなりました。華道では、少し難しかったと思いますが、みんな質問してくれて、とても教えやすかったです。男の子も来てくれて完成した作品を見て笑顔になり、「ありがとう」といってくれてとてもやりがいを感じました。一人一人が美しい作品を作ることができたと思います。来年もまた、呼んでいただけたら嬉しいです。      〈茶華道部副部長：後藤千紜〉

## 社協福祉ふれあいまつり

10月18日、松浪小学校にて『松浪地区社協福祉ふれあいまつり』が行われました。緑が浜小区推進協と合同で、からあげ・チュロス・ポップコーンの模擬店に参加しました。お天気にめぐまれたたくさんのお客さんが来てくれました。校庭ではフリーマーケット、体育館では地域の団体の発表や点字コーナー、作品展示が行われにぎやかなお祭りでした。



## 地域ふれあい講座

11月 日に松浪中学校で開催された「地域ふれあい講座」では、カラフルな2本の革紐を編むストラップ作りを行いました。同じ材料でも編み方に個性の出るストラップ作りです。作品が出来あがった中学生の誇らしげな表情が印象的でした。地域の方にも参加していただき素敵な交流の場になりました。



## 小和田公民館まつり

2月27日・28日は、小和田公民館にて『小和田公民館まつり』が行われました。緑が浜小区推進協と合同で模擬店を出店しました。今年はじゃがバターを販売しました。寒い日だったので、みなさんホクホクノじゃがいもをおいしそうに食べていました。汐見台小学校のダンスクラブのみなさんもステージでかっこいいダンスを披露しました。



## プラザしおみだい

プラザしおみだいでは、放課後の体育館を開放し、パートナーとよばれる方々が見守る中、楽しい遊具を使い、年齢の異なる児童が、交流を深めながら遊ぶことができます。

イベントを行うこともあり、12月はクリスマス会でした。クリスマスカードを作ったり、みんなでいろいろなゲームをして遊びました。サンタさんやトナカイさんも遊びに来てくれて、楽しいイベントになりました。

## 《編集後記》